

銀座熊本館 旬館だより

— 9月号 —



©2010熊本県くまモン



熊本の和紅茶



《発行》2021年9月
熊本県東京事務所
くまもとセールス課
〒104-0061
東京都中央区銀座5丁目3-16
銀座熊本館3階
☎03-3572-5021

緑茶の栽培・焙煎経験を活かし、日本にも紅茶の栽培をしている場所は各地にありますが、熊本県は鹿児島県に続いて国内第2位の生産量となっています。生産と普及に努力する県内各地の和紅茶をいくつか紹介いたします。

【1】和音ハルモニア (芦北・水俣地域)

「全国地紅茶サミット」を開催するなど、生産者と共に和紅茶の普及に力を入れるティーソムリエ和の香が、水俣市の3つの茶園と隣接する芦北町の茶園の農薬不使用の茶葉だけで作った和の香オリジナルブレンドティー「和音ハルモニア」。国産フルーツとスリランカ産のスパイスを独自にブレンドした「ヒロイン」という香り高い紅茶もあります。これは3時に飲むとよいかも？

(問) ティーサロン和の香 TEL/FAX 0966-84-9849



和音ハルモニア



ヒロイン茶葉

【2】★やまが復刻紅茶 (山鹿市)

山鹿市は明治時代に日本で初めて紅茶の栽培をした場所。その当時とほぼ変わらない栽培方法で育てた茶葉を使い熟成させた和紅茶です。渋みが少なく、また淹れっぱなしでも渋くなりにくい紅茶です。ストレートでお愉しみください。

(問) 藤本製茶 0968-32-2540



やまが復刻紅茶

【3】IWANAGA Tea Garden 和紅茶 (山都町)

宮崎県との県境にほど近い山都町馬見原にて家族2人で栽培している茶園の紅茶です。創業者岩永博氏が必死に守り抜いた在来種「岩永1号」を用いた和紅茶はとても繊細な味わい。10分煮だしても渋くならず逆に旨味の増す、稀有な紅茶となっています。

(問) 岩永製茶園 0967-83-0012



IWANAGA Tea Garden 和紅茶



【4】和紅茶 はるべに (水俣市)

水俣・芦北地域は和紅茶の熊本全県生産量の70%を占める一大産地。水俣市内にはいくつか生産・販売する茶園がありますが、この紅茶は2020年県産商品として初めて「国産紅茶グランプリ2020」の栄誉に輝いた和紅茶です。水俣市桜野上場地区で栽培された品種「べにふうき」を使用し、フルーティーな香りと優しい口当たりのお茶です。

(問) お茶の坂口園 0966-68-0620



和紅茶 はるべに

★印：銀座熊本館でも購入可能

今月はいぐさ蘭草生産日本一、県内唯一の大型クルーズ船寄港可能な港を持ち、更に石工の郷として日本遺産に選ばれた八代市をピックアップ！

◆くまモンポート八代 八代I.Cより車で約30分

世界の客船に開かれたウォーターフロントの形成をコンセプトに熊本県唯一のクルーズ船受入拠点となる八代港。コロナ禍で大型客船の来航はまだ先になりますが、2020年10月に「くまモンパーク」と駐車エリアがプレオープン。くまモンパークでは全長6mの“ビッグくまモン”と54体の“くまモン合唱隊”をはじめとする84体のくまモンがお出迎え。パーク内には世界中のクルーズ客に日本の魅力を伝える日本庭園や竹林の道も整備されています。※現在の営業日は土日祝日、受付時間は4回、来場は熊本県民限定となっています。駐車場の受付場所にて身分証明書の提示と検温が必要です。

(問) 熊本県土木部河川港湾局 096-333-2515



総勢54体の「くまモン合唱隊」

◆めがね橋群

八代市と合併した旧東陽村は熊本県内のみならず、全国のめがね橋を手掛けた石工集団を産み育てた町。旧東陽村の22基を含む46基のめがね橋が現存する八代市は、当然、県内最大数を誇ります。その優れた技術は単に橋を架けることに留まらず、干拓事業・棚田の石垣造成などにも活かされ、そのレガシーは「八代を創造（たがや）した石工たちの軌跡」として2020年6月「日本遺産」として登録されました。

(問) 八代市文化振興課 0965-33-4533



二見川にかかる眼鏡橋

◆八代城〔松江城〕 八代駅からバスで約10分（八代宮前バス停下車すぐ）

市内に聳える八代城は実は3代目。元和8年(1622年)加藤正方が市内松江に築城してから来年でちょうど400年を迎えます。城の存在は薩摩街道の再編、干拓事業をはじめとする地域の発展に大きく貢献しました。地域で産出される石灰岩を用いた八代城は、上記のめがね橋群と共に日本遺産の構成文化財の1つとなっています。

(問) 八代市文化振興課 0965-33-4533



八代城跡

◆日奈久温泉 肥薩おれんじ鉄道 日奈久温泉駅下車

開湯600年を超える歴史ある温泉町日奈久。古くは細川藩が営むお湯として栄え、俳人種田山頭火をはじめ多くの旅人を魅了してきた温泉です。泉源が16と豊富でほとんどの旅館が“かけ流し”の湯。木造3階建ての旅館や白壁があり、おばあちゃんと猫さんの多い路地裏などノスタルジーを感じる場所がそこかしこに。お土産には日奈久ちくわを是非♪

(問) 日奈久温泉観光案内所 0965-38-0267



日奈久温泉

お知らせ

◆永青文庫(文京区)「細川家の武具、戦着一美しき備え」展◆

細川家に伝来する歴史資料や美術品などの文化財を一般に公開している永青文庫において、8月17日(火曜日)から9月20日(月曜日・祝日)まで、「細川家の武具、戦着一美しき備え」展が開催されています。2階展示コーナーでは、「東京の中の細川家」のパネル展示(熊本県東京事務所協力)も行われています。

◆アクセス◆ 都電早稲田駅より徒歩10分。有楽町線江戸川橋駅より徒歩15分。

東西線早稲田駅より徒歩15分。都営バス「目白台三丁目」下車徒歩5分。

◆入館料◆ 一般：1000円、シニア(70歳以上)：800円、大学・高校生：500円

※中学生以下、障害者手帳をご提示の方及びその介助者(1名)は無料

◆開館時間◆ 10:00~16:30 (入館は16:00まで) ◆休館日◆ 月曜日(9/20は開館)

◆問合せ◆ 永青文庫 TEL:03-3941-0850



「東京の中の細川家」
パネル展示